

京都教区時報

カトリック京都司教区
 広報委員会
 京都市中京区
 河原町通三条上る
 TEL 075-211-3025
 FAX 075-211-3041
 honbu@kyoto.catholic.jp

<https://www.kyoto-catholic.net/>

「希望と夢」について思い巡らしました。「希望」は、①神の子とされ、愛され、聖霊が共に与えられる。②罪の赦しと永遠のいのちが始まっている。③復活の希望がある。「古い自分ではなく、新しく創造された者」である。「夢」は、教会の外に向かって何かできないかとの思いで、数年前から続けている分ち合いの小グループ「アフタヌーンティー」の案内を、今年伊賀地方で月2回配布される新聞タウン誌などに掲載して、町の人たちとの交わりに力を入れ一緒に歩んで行きたい。

また「洗礼、初聖体、堅信、結婚」に何かの形で少しでも関わっていききたい。大切にしたいこととして「否定的なことは言わない」「人との出会いを大切に」と決めました。このことを意識しているとかかわくわくした思いになります。

司教様は「キリスト教の希望は、未来への確信と現在の生活の支えの両方を提供します」と書かれています。本当にそのように思います。希望は人生に大きな喜びを与えてくれます。聖霊が共に与えられ「みことば」を通してたえず道を照らし導いてくださっています。

2025年 司教年頭書簡
 すべての人と
 希望の巡礼者となろう
 を受けて



第2回 夢をもって すべての人と一緒に歩んで行きたい！

「希望の錨、魂の錨」であるキリストをいただいてはいる私は、波にもまれながらも希望と喜びが心に保たれていると思っています。司教様のメッセージを読み、直接取り組めるものは協調性をもって行い、できないものについては解決されるように祈りを通して参加したいと思っています。共同体全体が心一つにして取り組むことができれば大きなうねりとなり、そこに神が働いてくださることを信じ祈ります。

上野教会はブラジル、ペルー、フィリピン、ベトナム、韓国など多国籍共同体で、いろいろな言語・文化の仲間が集うため、お互いに協調性が養われていきます。その中で共に関わり、自分に何ができるのかを探し出そうと努めることもできます。子どもたちは教会にいたることが楽しそうに見えます。時には家族の中で、あるいは学校で孤立し、悩みを抱えて教会に逃れて来ることにもありますが、そのような子にも温かい心で接し、支援をおしまない共同体であるように感じます。

「希望の錨、魂の錨」であるキリストをいただいてはいる私は、波にもまれながらも希望と喜びが心に保たれていると思っています。司教様のメッセージを読み、直接取り組めるものは協調性をもって行い、できないものについては解決されるように祈りを通して参加したいと思っています。共同体全体が心一つにして取り組むことができれば大きなうねりとなり、そこに神が働いてくださることを信じ祈ります。



三重南部ブロック
 上野教会信徒 澤 寛

新しい巡礼の旅路

チェジュ教区司祭 ホン・ユンハク



長いといえば長い、短いといえば短い8年の日本の京都教区での宣教司牧を振り返ってみると、すべての瞬間が恵みの瞬間でした。

京都教区の宣教司牧に立つ時、私は本当に多くの後悔と不安、疑いを持っていました。「もう少し考えてみますと言えよ良かった」「私にできることがあるだろうか?」「私がうまくできるだろうか?」など、本当に多くの考えが私の頭の中を複雑にしました。しかし、このすべてはただ自分一人だけの弱さと足りなさだったことを感じるようになりました。

京都教区で司牧をする毎瞬間に神様が共にいてくださったことを、パウロ大塚喜直司教様をはじめ京都教区の多くの信者の方々を通して体験するようになりました。

「京都教区に行きなさい」というチェジュ教区司教様の言葉に、ただ「はい、わかりました」と答えて司祭館に戻り、「もう少し考えてみますと言えよ良かった」と後悔の瞬間が、今はよい牧者であるイエス・キリストの姿を少しでも理解して生きることができたという満足の瞬間に、「私にできることがあるだろう

か?」と恥ずかしがって不安に思った瞬間が、イエス・キリストの手足になって小さな種を撒く誇りの瞬間に、「私がうまくできるだろうか?」と疑った瞬間が、神様がすべての瞬間に共にいてくださった私を導いてくださったという確信の瞬間に変わりました。

愛する京都教区の皆さん、去る人も、送る人も別れは簡単なことではありません。しかし、今、私は満足と誇り、確信を持って再び新しい巡礼の旅に出ます。私たちの人生は巡礼の連続です。人生という巡礼の旅路、昨日という過去は神様の慈しみに、今日という現在は神様の愛に、明日という未来は神様の恵みに任せて、私たちに与えられた巡礼の道を力強く歩きましょう。

いつかこの巡礼の旅路の中で再び会えるその日を希望しながら、恵みと平和、慈しみと愛である神様がいつも皆さんの巡礼の旅路を導いてくださることをお祈りします。

8年という時間を私と一緒にいてくださり、私のために祈ってくださいあってありがとうございます。

ホン神父さまは、2017年から京都教区奈良ブロック、山城ブロックで司牧してくださいました。1月5日宇治教会でのミサを最後に帰国されました。お世話になり、ありがとうございます。どうぞお元気で、新しい巡礼の旅路を歩まれますことをお祈りしています。



2024年京都教区中学生会広島平和巡礼



宇治教会 大塚喜直司教の訪問

2025 聖年 希望の巡礼者

JUBILEE 2025 Peregrinantes in Spem



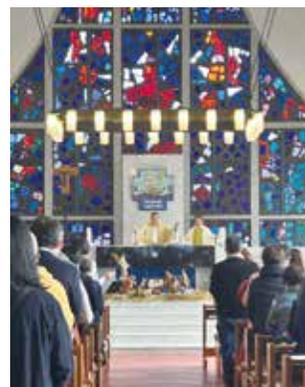
教皇フランシスコは2024年5月9日、2025年の聖年を布告する大勅書「希望は欺かない」を発表しました。

2024年12月24日、聖ペトロ大聖堂の「聖なる扉」が開門され、2025年の聖年が始まりました（右の写真はバチカンニュース動画より）。

京都教区では、2024年12月29日聖家族の祝日、司教座聖堂である河原町教会において、大塚喜直司教により「2025聖年開幕ミサ」が行われました。聖なる扉が祝福され、聖年が始まりました。2025年12月28日の閉幕までの1年、希望の巡礼者としてともに歩んでまいりましょう。



司教座聖堂河原町教会の聖なる扉とその祝福



2025聖年開幕ミサ

聖年を豊かに過ごすため、ぜひお読みください

■希望は欺かない—2025年の通常聖年公布の大勅書
教皇フランシスコ
中央協議会のHPに全文が公開されています。



■2025年聖年「希望の巡礼者」を迎えるにあたって
大塚喜直司教メッセージ
京都教区時報2024年12月号や京都教区のHPから読むことができます。



■2025年司教年頭書簡「すべての人と希望の巡礼者となろう」
京都教区時報1月号や京都教区のHPから読むことができます。

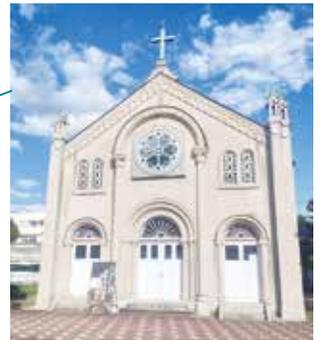


2025 聖年 京都教区の巡礼指定教会



福知山教会

丹後教会宮津教会堂



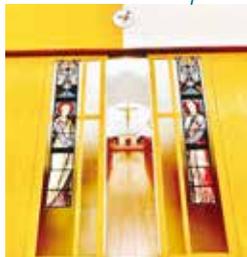
司教座聖堂河原町教会



大津教会



奈良教会



鈴鹿教会



四日市教会

司教座聖堂河原町教会	〒604-8006	京都市中京区河原町通三条上ル	TEL 075-231-4785
丹後教会宮津教会堂	〒626-0023	宮津市宮本500	TEL 0772-22-3127
福知山教会	〒620-0940	福知山市駅南町 1-247-1	TEL 0773-22-2347
大津教会	〒520-0802	大津市馬場 2-4-6	TEL 077-522-3987
奈良教会	〒630-8213	奈良市登大路町36	TEL 0742-26-2094
鈴鹿教会	〒513-0801	鈴鹿市神戸 3-17-5	TEL 059-373-4180
四日市教会	〒510-0063	四日市市十七軒町 2-4	TEL 059-352-2012

2025 聖年の巡礼

聖年には、巡礼者がローマの教皇直属四大聖堂を訪れ、通常は閉じられているが聖年にのみ開かれる「聖なる扉」を通る伝統があります。巡礼は聖年における基本的要素であり、教皇は「希望の巡礼者たち」が伝統的な、あるいは今日的な巡礼を通して、聖年を体験することを願っておられます。

聖年の間、各教区の司教座聖堂や、教区司教によって指定された教会・聖堂を訪問することで、免償を得ることができます。病気や高齢で巡礼が難しい人は、聖体拝領やミサ、共同体の祈りに実際に参加するか、テレビやラジオを通して参加することで、聖年の免償を受けることができます。

「大塚喜直司教2025年聖年『希望の巡礼者』を迎えるにあたって」より抜粋

京都教区以外にも、各教区の巡礼教会や聖堂が指定されています。巡礼をされる場合には、ホームページやお電話などで情報をご確認ください。

聖年の祈り

天の父よ、

あなたは、わたしたちの兄弟、御子イエスにおいて信仰を与え、
聖霊によってわたしたちの心に愛の炎を燃え上がらせてくださいました。

この信仰と愛によって、
神の国の訪れを待ち望む、祝福に満ちた希望が、
わたしたちのうちに呼び覚まされますように。

あなたの恵みによって、わたしたちが、
福音の種をたゆまず育てる者へと変えられますように。
この種によって、新しい天と新しい地への確かな期待をもって、
人類とすべてのものが豊かに成長していきますように。

そのとき、悪の力は打ち払われ、
あなたの栄光が永遠に光り輝きます。

聖年の恵みによって、
希望の巡礼者であるわたしたちのうちに、
天の宝へのあこがれが呼び覚まされ、
あがないの喜びと平和が全世界に行き渡りますように。
永遠にほめたたえられる神であるあなたに、
栄光と賛美が世々としえにありますように。アーメン。



2025聖年公式マスコットキャラクター
ルーチェ（イタリア語で光の意味）



聖年のロゴマーク

小学生侍者会 「朗読と侍者」

2024年12月21日(土) 西陣教会

クリスマス、冬休みを目前に控えた12月21日、西陣教会において、小学生侍者会を行いました。4年生4名、5年生3名、6年生1名の計8名が5小教区から集まり、小立花神父の指導の下、朗読と侍者の練習をしました。



午前中は、神父様のお話を聞いて朗読の練習と侍者の動作について学び、お

弁当を食べて、少し遊んでからは、侍者服に着替えて侍者の練習、特に歩き方について学びました。ミサに来る人たちの祈りを集めて祭壇におささげする侍者にとって、歩き方の習得はとても大切です。参加者は、真剣に練習に取り組み、練習が終わるころには、とても美しい行列になっていました。練習したことを忘れず、所属教会のミサでも、侍者奉仕に励んでくれることと思います。

3月には、召命祈願ミサで侍者奉仕、朗読奉仕をする予定です。
信仰教育委員会



中学生会 2024年 冬合宿 「あったか〜い〇〇 —いつもあなたのそばに—」

2024年12月27日(金)〜28日(土) 唐崎メリノールハウス

中学生会冬合宿を開催しました。中学生15名が参加し、コロナ禍を経て再開した合宿としては最大の参加者数となりました。

今年の冬合宿では、卒業式で在校生と卒業生に分かれてそれぞれで出し物を行いました。初参加の中学生も多くいるなかで、所属教会や年齢に関係なく、中学生同士で和気あいあいとし出し物の準備を進める姿は、まさに「あったか〜い雰囲気」でテーマそのものだったように思います。



クリスマスプレゼント交換後の集合写真

中学生の皆さんは、勉強に部活に忙しい日々が続くと思いますが、今回の分かち合いでみんなで考えた「忙しくて教会から離れてしまうことがあっても、いつでもイエス様はそばにいてくださる」ということを、忘れずにいてくれると嬉しいです。

最後に、今回の合宿を開催するにあたり、支えてくださった全ての皆様に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

中学生会 2024年冬合宿

総括 池田虹子 (唐崎教会)

こんにちは シスター 共同宣教司牧担当者のシスターの紹介シリーズ

フィリピン人司牧担当

シスター シーラ・ゴメス (無原罪の聖母フランシスコ姉妹会)

私は無原罪の聖母フランシスコ姉妹会のシスター シーラ・ゴメスです。ニックネームはシスター ララです。昨年9月14日に日本へ来て、今は滋賀県でフィリピン人共同体の司牧を担当しています。

私は終生誓願の後、同会のフィリピン南部管区で15年間を過ごしました。以前は主に召命促進と養成の使徒職につき、本会の学校でチャプレンとして、また施設管理者、幼稚園の教師補助、図書館責任者として奉仕しました。

私はシスターになる前から小教区で聖歌隊に属し、朗読者や先唱者として6年間奉仕しました。そしてシスターになってからは宣教者になることが夢となり、若い頃から海外での宣教を希望していました。そして今回、神様は私を日本に導いてくださいました。

今年5月に修道生活25周年を迎えますが、これまで25年間の修道生活で神が与えてくださった豊かな恵みに感謝しつつ、夢であった日本での奉仕に努めてまいります。



冬プロジェクト報告

2024年12月28日(土)～29日(日)、唐崎メリノールハウスにて「冬プロジェクト」を行いました。

冬プロジェクトは、企画してからコロナ禍になり、なかなか実施できずにいましたが、2024年にやっと開催することができました！

1日目は、2024年を振り返る分かち合いをした後、交流会を行いました。今回は参加者を青年に限定しませんでした。なので、幅広い世代の方々が約45名集まってくださり、縦のつながりも、横のつながりも深まる良い時間を過ごすことができました。

2日目は、カトリック唐崎教会のミサへ行きました。ミサ後、教会の方々と交流し、青年活動を応援していただきました。

小さい子どもや、初参加の方、久しぶりにお会いできた方など、たくさんの方に参加していただき、嬉しく思います。

2025年も、つながりを大切にしていきたいです。

唐崎教会 池田瑠智亜



お知らせ

司 教

大塚司教の予定

最新の情報は京都司教区のホームページにてご確認ください。



教 区

花井拓夫師 司祭叙階60周年
瀧野正三郎師 司祭叙階50周年 感謝ミサ

日 時：3月20日(祝) 10:00
場 所：河原町教会

小学生侍者会

日 時：3月28日(金) 10:30~15:30

場 所：河原町教会

対 象：現小学4.5.6年生
小教区でまとめて申込
先着順30名

問合せ：信仰教育委員会

shinko_kyouiku@kyoto.catholic.jp

召命祈願ミサ 14:00 河原町教会

ミサ中朗読奉仕者選任式が行われます。
どなたでもミサにご参加くださり、召命のために
お祈りください。

絵画を通しての祈りー講演と祈りへの招きー
テーマ「カラヴァッジョ《キリストの埋葬》
に見られる古典性と革新性」

日 時：3月22日(土) 14:30

場 所：河原町カトリック会館大ホール

講 師：木村太郎氏 (大阪芸術大学・神戸女
学院大学非常勤講師)

大塚喜直司教

受講費：1,000円 (申込不要)

主催・問合せ：福音宣教企画室

fukuin@kyoto.catholic.jp

TEL 075-223-3336



教区時報4月号の原稿締切日は3月24日(日)です。
koho@kyoto.catholic.jp

諸 団 体

京都カトリック混声合唱団

聖歌練習

日 時：3月9日(日) 14:00

第4土曜日は活動休止中

場 所：河原町教会聖堂 団員募集中

問合せ：075-951-4283 則武 隆

コーロ・チェルステ (女声コーラス)

練 習：3月13日(水) 10:00 27日(水) 10:00

場 所：河原町教会2階楽廊

新会員募集中

問合せ：075-561-5971 駒井和子

聴覚障がい者の会・京都グループ

手話表現学習会 (聖書と典礼)

日 時：3月18日(火) 13:00~15:00

場 所：河原町教会地下ヴィリオンホール

問合せ：鎌田 修 kamadaosamu@gmail.com

心のともしび

ラジオ番組案内(全国34局で放送)

3月の主テーマ「受けとめる」

KBS京都 (月)~(金) 朝5:55

(土) 朝5:15

ラジオ関西 (月)~(金) 朝5:00

(日) 朝6:05

毎日放送 (月)~(金) 朝5:45

(土) 朝4:55



皆さまのまわりに点訳版「京都教区時報」
が必要な方がおられないでしょうか。点訳
版「京都教区時報」をご希望の方がおられ
ましたら、カ障連大阪フレンドリー点字部・
笠松幸彦さんまでお申込みください。無料
でお送りします。
Tel・Fax/072-722-0271

チェジュ教区 助祭叙階式

2025年1月11日

カテドラル中央教会



キム・ソクウ助祭

助祭叙階

おめでとうございます!



司祭・司牧者人事異動のお知らせ

青少年委員会 担当司祭 (1月1日付)

中学生会

菅原友明師 ソ・ウォンハ師

M.ブルース師 出水 洋師

イ・ウォンギョ師

国際協力委員会 ラテン・アメリカコミュ
ニティー 担当司祭 (1月6日付)

エミリオ・フォルトウール師

グアダルーペ宣教会